



白岡市

第6次白岡市総合振興計画

概要版



ごあいさつ



「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち」の実現を目指して

本市は、平成24年に単独で市制施行し、今年で10周年を迎えます。

この10年間におきましては、第5次白岡市総合振興計画に基づき、各種施策を計画的に推進し、市民の皆様との協働により、まちづくりを進めてまいりました。

その結果、本市では順調に人口の増加が続いておりますが、今後は、若い世代を中心に減少していくことが予測されています。

近年では、全国的な人口減少・少子高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症に対する新しい生活様式への変化など、これまで経験したことのない時代への転換期を迎える中、本市が大きく飛躍していくためには、今後の10年間は重要な期間になると考えております。

また、厳しい社会経済情勢の中にあっても、本市のポテンシャルを最大限に生かしつつ、白岡市らしいまちづくりを目指していく必要があります。

このような状況の中、未来に希望を持つことができるまちづくりを市民の皆様とともに推進し、本市が将来にわたって持続的な成長を維持していくために、令和4年度からの市政運営の指針として、新たに第6次白岡市総合振興計画を策定いたしました。

本計画では、「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか」をまちの将来像に掲げ、その実現を図るために7つの基本目標を定めております。

私は、本計画に基づき、本市がもっと元気に、市民の皆様がもっと幸せに、住みたい、住み続けたいと思っただけのようなまちづくりを市民の皆様とともに進めてまいります。

結びに、本計画の策定に当たりまして、貴重な御意見をいただきました市民の皆様をはじめ、慎重な御審議をいただきました総合振興計画審議会委員や市議会議員の皆様にご心から感謝申し上げます。

令和4年3月

白岡市長 藤井栄一郎

総合振興計画とは

白岡市総合振興計画は、まちづくりの基本的な方向を示す市の最上位の計画であり、長期的な展望に基づいて本市におけるまちの将来像を示すとともに、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、各行政分野の方針などを明らかにするものです。

計画の構成と期間

将来のまちづくりを計画的に進めるとともに、今後の社会経済情勢の変化に柔軟に対応することができるよう、計画の構成は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造とします。

1 基本構想（計画期間10年：令和4～13年度（2022～2031年度））

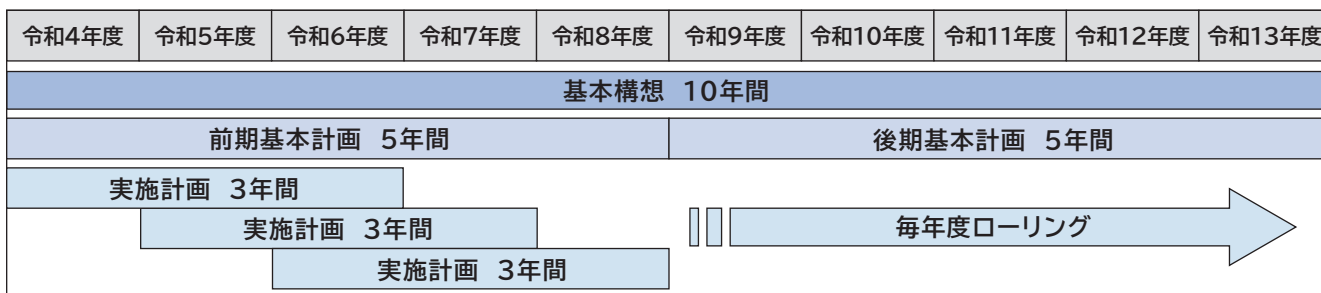
まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための指針となるものであり、まちの将来像や基本目標（分野別のまちの姿）などを定めるものです。

2 基本計画（計画期間5年：令和4～8年度（2022～2026年度））

基本構想を実現するため、まちの現状と課題を整理し、基本的な施策を体系的に定めるものです。

3 実施計画（計画期間3年）

基本計画で定めた施策の具体的な実施方法（事業）等を定めるものであり、社会経済情勢の変化や緊急性を要する事業に対応するために、毎年度必要となる見直しを行います。



まちづくりの基本理念

市民に寄り添うまちづくり

市民満足度の向上を図り、日々の暮らしに幸せを実感できるまちにするため、市民に寄り添ったまちづくりを進めます。

チャレンジするまちづくり

市の強みを活用し、弱みや課題を克服していくために、市民と行政が様々なことにチャレンジしながらまちづくりを進めます。

持続可能なまちづくり

社会環境の変化が著しい中、時代の変化に柔軟に対応した持続可能なまちづくりを進めます。

まちの将来像と基本目標



人口フレーム

まちの魅力の創出・発信、出産・子育て環境の整備、産業の育成・支援等の施策を展開していくことにより、人口減少の抑制に努めることとし、本計画の目標年次である令和13年(2031年)の目標人口を52,000人とします。

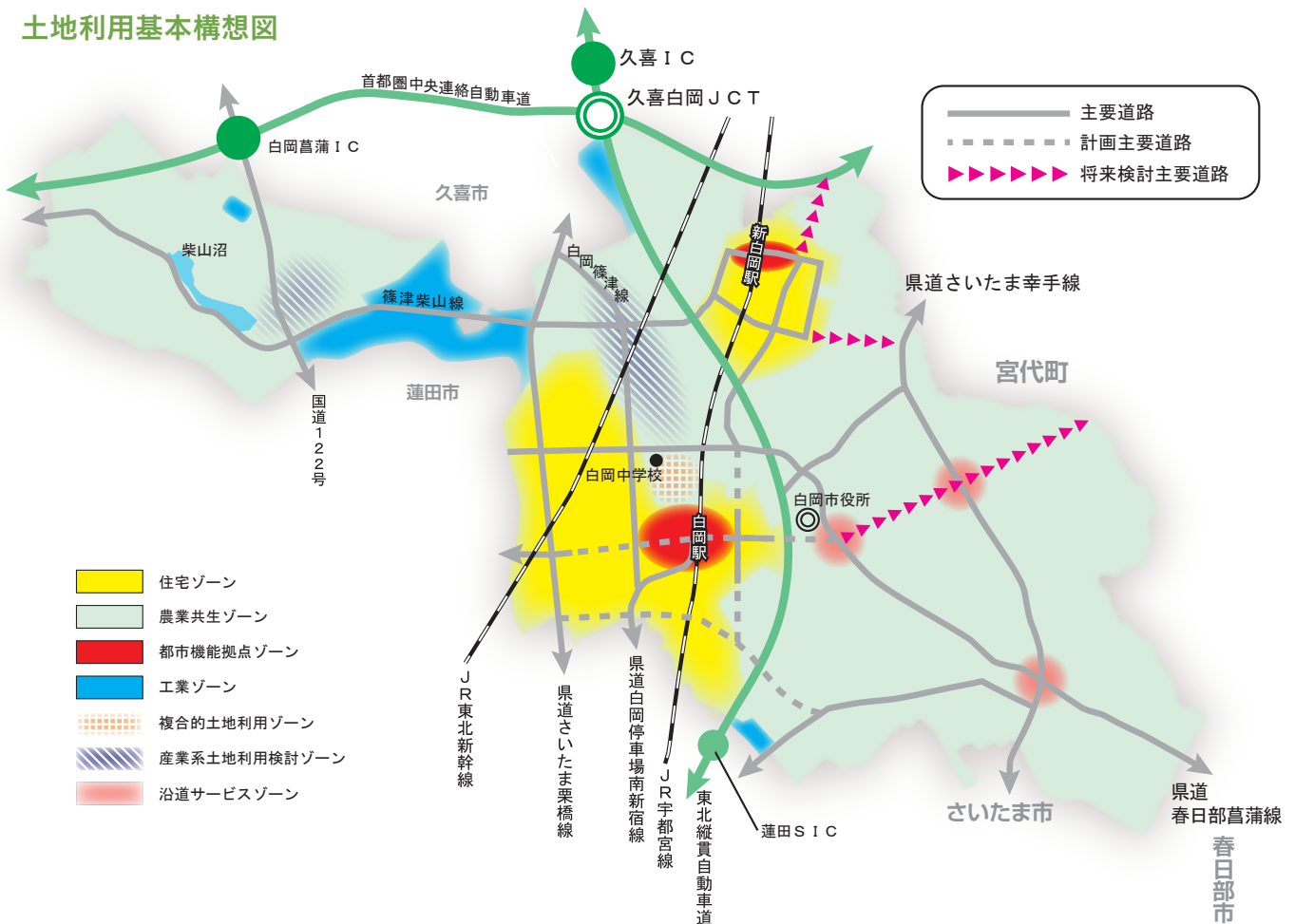
「令和13年(2031年)」の目標人口 = 52,000人

土地利用基本構想

白岡市の地勢や交通等の地域特性、現在の土地利用の実態及び今後の利用動向を踏まえ、それぞれのゾーンごとに将来の方向性を定めます。

住宅ゾーン	住宅ゾーンでは、良好な住宅地の形成と居住環境の向上を図ります。 また、幹線道路沿いにおいては、良好な居住環境を確保しつつ、地域住民などの生活利便性の向上に資する商業・業務施設などの誘導を図ります。
農業共生ゾーン	農業共生ゾーンでは、スプロール化を防止し、優良農地の保全・確保に努めるとともに、農地利用の集積を進め、生産基盤の強化を図ります。 既存の集落においては、生活道路や排水路などの適切な維持・更新により、生活環境の保全を図ります。
都市機能拠点ゾーン	白岡駅周辺では、本市の市街地の拠点として、都市計画道路の整備に合わせて魅力ある商業・業務施設などの都市機能の集積を図ります。 また、新白岡駅周辺では、地域住民の生活利便性の向上に資する施設の誘導を図ります。
工業ゾーン	工業ゾーンでは、良好な操業環境の維持・保全を図りつつ、効率的かつ効果的な工業の振興を図ります。
複合的土地利用ゾーン	複合的土地利用ゾーンでは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる生活環境の充実のため、地域における医療福祉拠点の基盤整備を図ります。 また、周辺環境に配慮しつつ、既存企業の操業環境の保全や研究施設等の誘導を図ります。
産業系土地利用検討ゾーン	白岡中学校北側区域では、広域的な交通利便性に優れているという立地条件を生かし、周辺環境に配慮しつつ、市民の生活に資する産業系の土地利用を検討します。 国道122号に接し、圏央道白岡菖蒲インターチェンジに近接する地域では、広域的な交通利便性に優れているという立地条件を生かし、工業ゾーンとのつながりや周辺環境に配慮しながら、産業系の土地利用を検討します。 また、柴山沼の周辺地域では、広域的な交通利便性の高さ豊かな自然環境を生かし、地域活性化に資するにぎわい拠点としての土地利用を検討します。 都市計画道路篠津柴山線と白岡篠津線が交差する篠津北東部地域では、農業生産基盤の整備を図るとともに、広域的な交通利便性の高さを生かし、周辺環境に配慮しながら、産業系の土地利用を検討します。
沿道サービスゾーン	沿道サービスゾーンでは、周辺の住環境などへの影響に配慮しながら、地域住民などの生活利便性の向上や地域活性化に資する施設などの沿道サービス機能の充実を図ります。

土地利用基本構想図



基本目標（分野別のまちの姿）

<p>政策目標</p> <p>1</p>	<p>誰もが生き生きと健やかに暮らせるまち (健康・医療・福祉)</p> <p>保健・医療・介護などの各種支援の充実を図るとともに、生きがいづくり、自立支援、介護予防をはじめとした取組の充実を図ります。また、障がい者の支援の充実を図るとともに、市民の健康意識の醸成、地域における市民同士の交流や支えあいのための環境づくりを推進するなど、誰もが住み慣れた地域で生き生きと健やかに暮らすことができるまちづくりを進めます。</p>	<p>施策</p> <ol style="list-style-type: none">1 生涯を通じた健康づくりの推進2 地域医療の充実3 地域福祉の推進4 高齢者福祉の充実5 障がい者福祉の充実6 社会保障の推進
<p>政策目標</p> <p>2</p>	<p>自然とともに安全で安心して暮らせるまち (自然環境・生活安全)</p> <p>市民と行政との協働による自然環境の保全や地球温暖化対策などを推進するとともに、循環型社会を形成するための取組を進めます。また、防災や防犯などに自助・共助・公助の考え方を基にして地域一体となって取り組むとともに、市民一人一人の暮らしや生命を守る施策の充実を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p>	<p>施策</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域防災・消防体制の充実2 交通安全・防犯対策の推進3 環境の保全
<p>政策目標</p> <p>3</p>	<p>次代を担う人と豊かな文化を育むまち (子育て・教育・文化)</p> <p>子どもを安心して産み育てることができる地域社会を目指し、子育て支援の充実や教育環境の整備を進めます。また、市民の学習、文化・芸術活動の支援やスポーツの振興を図ることにより、生涯にわたり文化・芸術・スポーツに親しみ、豊かな文化を育むまちづくりを進めます。</p>	<p>施策</p> <ol style="list-style-type: none">1 子育て支援の充実2 家庭・地域の教育力の向上3 学校教育の充実4 社会教育の充実
<p>政策目標</p> <p>4</p>	<p>地域の産業が活発でにぎわいのあるまち (産業・雇用)</p> <p>企業誘致、起業・創業に関する支援、魅力ある農業の振興等に向けた取組を推進し、産業の活性化を進めるとともに、市内での雇用の促進を図ります。また、関係機関と連携し、求職者・就業者に対する支援に取り組み、雇用や就労環境の充実に努めるとともに、駅周辺への商業集積を推進するなど、にぎわいのあるまちづくりを進めます。</p>	<p>施策</p> <ol style="list-style-type: none">1 農業の振興2 商工観光の振興3 企業誘致・雇用対策の推進
<p>政策目標</p> <p>5</p>	<p>快適で誰もが住みやすいまち (都市基盤・住環境・公共交通)</p> <p>道路、橋りょう、上下水道、公園などの都市基盤の整備や効率的な維持保全に取り組むとともに、公共交通を充実させ、快適な住環境の保全・形成を図ります。また、地域が持つ強みなどを踏まえ、居住や都市の生活を支える機能の誘導を図るコンパクトなまちづくりと、交通ネットワークの形成により、快適で誰もが住みやすいまちづくりを進めます。</p>	<p>施策</p> <ol style="list-style-type: none">1 居住環境の整備2 上下水道の充実3 道路・水路の整備4 公共交通の充実

政策目標

6

多様な市民が主体的に活躍するまち
(協働・人権)

市民との情報共有の充実を図るとともに、地域活動を推進するため、地域自治組織や市民活動団体の育成・支援に努めます。また、お互いに多様性を認め合い、人権が尊重される地域社会の構築に努め、多様な市民が主体的に活躍するまちづくりを進めます。

施策

- 1 参画と協働によるまちづくりの推進
- 2 認め合う社会の推進

運営方針

1

安定的で信頼される行財政運営

持続可能で安定した行財政運営を行うため、事業の選択と集中を図るなど、行財政改革の推進を図ります。また、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進などによる効率的・効果的な行政運営を図るとともに、市民の多様なニーズに対応したサービスの提供を図り、安定的で信頼される行財政運営を行います。

施策

- 1 安定した財政運営の推進
- 2 効率的・効果的な行財政運営の推進
- 3 積極的な魅力の発信

SDGs への取組

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指すため、平成27年(2015年)に国連加盟国の全193か国の賛同により採択され、令和12年(2030年)までに達成が求められる世界共通の目標です。本市においても、SDGsの考え方を本計画に取り入れ、SDGsの達成に寄与する取組を進めます。本市の各施策分野とSDGsにおける17のゴールを明確に関連付けることで、SDGsを一体的に推進するものとします。



重点取組項目

市民満足度の向上を図るため、市民意識調査で重要度が高く、満足度が低い施策を中心に、分野を横断して重点的に展開する取組を「重点取組項目」として位置付け、各種取組を推進していきます。

交通ネットワークの充実

白岡駅へのアクセス道路となる都市計画道路白岡宮代線、白岡駅東口線、白岡駅西口線など、東西方向の道路整備を推進します。また、駅を中心とする市街地と周辺の居住地域を結ぶ幹線道路の整備、都市機能の誘導や公共交通の充実により、快適で誰もが住みやすいまちを目指します。

関連施策	政策目標 2-2	交通安全・防犯対策の推進
	政策目標 4-2	商工観光の振興
	政策目標 4-3	企業誘致・雇用対策の推進
	政策目標 5-1	居住環境の整備
	政策目標 5-3	道路・水路の整備
	政策目標 5-4	公共交通の充実

農地利活用の促進

効率的な農作業の推進と農業生産体制の安定化を図るため、農業法人や認定農業者等の中心経営体に対する農地の集積・集約化を進めるなど、合理的な農地利用を推進します。また、新たな農業の担い手を確保するため、農業法人等の参入を支援するなど、遊休農地の解消や地域雇用を促進し、地域農業の活性化を図ります。これらの取組を推進することにより、雑草の繁茂、害虫の発生、不法投棄等の防止による環境保全や良好な景観形成を図るなど、農業が有する機能の維持・活用を図ります。

関連施策	政策目標 2-3	環境の保全
	政策目標 4-1	農業の振興
	政策目標 4-3	企業誘致・雇用対策の推進

行財政改革の推進

市の事業の在り方や施設の適正配置、組織運営体制などの見直しを行うとともに、選択と集中による予算の重点配分や、積極的な歳入の確保を図ります。また、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進することにより、業務の効率化を図るとともに、組織風土と職員の意識の改革を推進することで、職員の能力と業績の向上を図り、質の高い市民サービスの提供を図ります。

関連施策	運営方針 1-1	安定した財政運営の推進
	運営方針 1-2	効率的・効果的な行政運営の推進